

## 平成30年度当初予算知事審査における主要な議論（県民生活部）

### ■ 埼玉のまつり広報費（B6）、埼玉 WABISABI 大祭典事業（B26）

担当部局 文化の担い手側の参加が少なかった今年度の反省を生かし、盆栽、生け花、書道の展示を充実させ文化の担い手側の参加を増やしていきたい。

知 事 埼玉 WABISABI 大祭典事業は県がやってあげるのではなく、参加者に主体的に実施してもらうことを意識すること。伝統芸能のお師匠さんのみ参加してもらうのではなく、そのお弟子さんも巻き込んでやらなくては盛り上がらない。

### ■ スポーツ医・科学拠点施設・水泳場整備事業費（B53）

知 事 現時点で整備手法の具体的なイメージはあるのか。

担当部局 PFI や県が直接建設する手法などがある。PFI は収益をどのようにあげるかによって様々な整備手法があるので、具体的な事例を研究しているところである。

知 事 県民の体力・健康づくりとして、県内全体にどれだけ寄与できるのか。

担当部局 この施設では各市町村で活動しているスポーツ指導者のレベルを上げることで、全県へ波及させることなどを考えている。

### ■ ラグビーワールドカップ 2019 大会準備推進事業（B56）

知 事 様々なイベントをやるのは分かるが、その参加者からの広がりは一時的。気運醸成としてやるからには新聞やテレビでどれだけ取り上げてもらえるかがポイント。

担当部局 熱心に取り上げていただいている。引き続き取り上げてもらえるように工夫していく。

知 事 自己満足ではなく何のためにやるイベントなのかを意識していくこと。

### ■ 東京オリンピック・パラリンピック推進事業費（B57）

担当部局 埼玉独自の取組として大会を体感し本県の魅力を発信できるイベント会場の基本設計費用を予算要求している。会場がない市町村にも意味がある大会にしていく必要がある。

知 事 イベント会場に 63 市町村の物産ブースを出店してもらう考えもあるのではないかと。

担当部局 基本設計を進める中で整理し、改めて知事に相談させていただきたい。

知 事 バスケットが行われるさいたまスーパーアリーナの入口・通路で和服、浴衣姿の人がお茶をたてておもてなしすれば日本文化の発信という意味で効果が大きいのではないか。

担当部局 会場周辺はセキュリティなどが厳しいので、イベント会場でお茶をたてて振る舞うなど考えていきたい。

# 平成30年度予算見積調書

課室名：広聴広報課  
 担当名：魅力発信担当  
 内線：3192

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B6	埼玉のまつり広報費			一般会計	総務費	県民費	広報広聴費	埼玉プレゼンテーション推進費	
事業期間	平成30年度～平成32年度	根拠法令	なし				宣言項目分野施策	061348 郷土の魅力の創造発信	
1 事業概要 県内の多彩な「まつり」を通して本県魅力を発信することによって、「埼玉県の魅力アップ」、「県民の郷土愛醸成」、「地域の活性化」、「観光客の増加」などを図ることを目的とする。  (1) メディアミックスによる広報 49,201千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア メディアミックスによる広報 49,201千円 (ア) SNSマーケティング支援 ・ SNSの投稿コンテンツ制作、アクセス数増加等のための改善支援 (イ) 「さいたま祭り」Webサイトの運営 ・ 県内まつりの取材、Webサイトの充実等 (ウ) インフルエンサーの活用 ・ 著名人を活用し、県内外へ「さいたま祭り」を発信 (エ) まつり写真コンテスト ・ SNSを活用した一般向けの写真コンテスト開催 (オ) ドローン映像撮影 ・ 県内まつりのドローン撮影、ホームページ等での発信 (カ) 県内イベント出展 ・ 埼玉WABISABI大祭典、埼玉サイクルエキスポ等への出展  (2) 事業計画 県内の多彩な「まつり」を通して、県民の郷土に対する愛着、誇り、帰属意識を醸成する。併せて、県外海外へ本県魅力を発信する。  (3) 事業効果 「まつり」を知ること、見ることを通して本県の認知度を向上し、県民の郷土に対する愛着、誇りを高める。  (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 市町村や観光協会と連携し、魅力ある「まつり」の発掘、「まつり」の情報発信を行う。					
2 事業主体及び負担区分 県10/10									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.2人=11,400千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	49,201							49,201	38,399
前年額	10,802							10,802	

# 平成30年度予算見積調書

課室名：文化振興課  
 担当名：文化創造・発信担当  
 内線：2882

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B26	埼玉WABI SABI大祭典事業			一般会計	総務費	県民費	文化振興費	東京オリンピック・パラリンピック文化プログラム育成事業費	
事業期間	平成30年度～平成32年度	根拠法令	埼玉県芸術文化基本条例第7条及び第17条 オリンピック憲章			宣言項目 分野施策	11 061349	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化 文化芸術の振興	
1 事業概要	<p>オリンピック・パラリンピックは、スポーツだけでなく文化の祭典でもある。多彩な文化プログラムを展開することで本県の魅力を国内外にアピールする。</p> <p>(1) 埼玉WABI SABI大祭典2018の開催 48,600千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容                      ア 埼玉WABI SABI大祭典2018の開催 48,600千円                      盆栽をはじめ埼玉にある「和」の文化を一堂に集め、様々な角度から紹介し、「wabi sabi」を通じて在日及び外国人観光客を含めた幅広い層に埼玉の「和」の文化を訴えるとともに、国内外へ情報発信を行う。</p> <p>(2) 事業計画                      H30 埼玉WABI SABI大祭典推進協議会設立                      埼玉WABI SABI大祭典2018の開催</p> <p>(3) 事業効果                      ア 東京五輪における埼玉県の文化芸術のPRとなるとともに、オリンピックの参画意識が高まる。                      イ 埼玉の和の文化のPRになり、後継者育成にもつながる。                      ウ 若者が活躍する機会を提供することで、次世代の文化芸術の担い手を育成する。</p> <p>参加予定人数                      埼玉WABI SABI大祭典2018：40,000人（2日間）</p> <p>(4) 県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況                      ア 埼玉WABI SABI大祭典推進協議会を通じた連携の推進                      イ 市町村との連携                      ウ 協賛企業の募集                      エ 地元商店街との連携</p>					
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×2人=19,000千円								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	48,600							48,600	16,201
前年額	32,399							32,399	

# 平成30年度予算見積調書

課室名：スポーツ振興課  
 担当名：生涯スポーツ担当  
 内線：6952

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B53	スポーツ医・科学拠点施設・水泳場整備事業費			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	県民スポーツ振興費		
事業期間	平成28年度～平成32年度	根拠法令	スポーツ基本法第4、6、7、12、14、16、18、21条、埼玉県スポーツ振興のまちづくり条例	宣言項目	分野施策	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化 061350 スポーツの振興			
1 事業概要	アスリートや子供から高齢者までが集い、競技力向上や体力・健康づくりを図ることができるスポーツの拠点として、スポーツ医・科学拠点施設及び水泳場の一体整備に向けた検討を行う。  (1) スポーツ医・科学拠点施設・水泳場整備事業費 43,308千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア スポーツ医・科学拠点施設・水泳場整備事業費 43,308千円 (ア) 基本計画策定等 整備場所や施設の内容、規模等を決定する基本計画の策定等を行う。 (イ) 事業手法の検討調査 民間活力を導入するなどの事業手法について検討調査を行う。  (2) 事業計画 平成30年度～ 基本計画の策定、事業手法の検討調査 平成31年度～ 契約事務 平成33年度～ 設計、工事等  (3) 事業効果 ア 屋内水泳場 最先端の技術で競技力向上や体力・健康づくりをサポートする。 国内主要大会が開催可能な規模とする。 イ スポーツ医・科学拠点施設 スポーツ医科学の知見を活用し、アスリート育成・支援を行うとともに、その知見を一般の県民の体力・健康づくりなどにも生かす。 ウ 一体的な整備の利点（水泳場、スポーツ医・科学拠点施設等） (ア) 共通する施設・設備を一体的に整備・活用することで、建設経費・維持管理経費を削減できる。 (イ) プール（運動の実践）と医科学サポートの相乗効果により、施設の魅力・価値が高まることで、利用者の増大につながり、賑わいが創出される。 (ウ) プール単体に比べ、両施設の有効活用が可能となり、民間の創意工夫が一層期待できる。						
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×2.5人=23,750千円									
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
決定額	43,308	3							43,305	20,408
前年額	22,900								22,900	

# 平成30年度予算見積調書

課室名：ラグビーワールドカップ2019大会課

担当名：広報・普及担当

内線：6876

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B56	ラグビーワールドカップ2019大会準備推進事業			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	ラグビーワールドカップ2019大会準備推進費		
事業期間	平成27年度～平成31年度	根拠法令	スポーツ基本法第19条 埼玉県スポーツ振興のまちづくり条例		宣言項目 分野施策	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化 061350 スポーツの振興			
1 事業の概要	ラグビーワールドカップ2019大会の成功に向け、開催都市として着実に開催準備を進める。 また、各種広報活動を行い、大会をPRし、チケット販売の促進を図る。			5 事業説明						
(1) 埼玉県推進委員会負担金	149,839千円			(1) 事業内容						
(2) 課運営費	18,239千円			ア ラグビーワールドカップ2019大会埼玉県推進委員会負担金 149,839千円 2020オリンピック・パラリンピック/ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会のラグビーワールドカップ2019専門委員会への負担金						
(3) 協賛宝くじ拠出金	134,000千円			イ ラグビーワールドカップ2019大会課運営費 18,239千円 課の運営経費(非常勤職員報酬、旅費など)						
2 事業主体及び負担区分(県10/10)				ウ ラグビーワールドカップ2019大会協賛宝くじ拠出金 134,000千円 協賛宝くじ収益金の大会組織委員会への拠出						
3 地方財政措置の状況	なし			(2) 事業計画						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×18人=171,000千円			ア 平成29年度 推進委員会組織による各種広報、気運醸成(通年)、開催都市及び関係機関との調整、各種基本計画の作成等						
				イ 平成30年度 カウントダウンイベント、開催都市プロモーション、各種実施計画の作成、新ラグビー場こけら落とし等						
				ウ 平成31年度 テストイベント、大会の開催(9月～10月)						
				(3) 事業効果						
				ア 開催都市として国内外に埼玉県の魅力をアピールすることによる観光客の拡大						
				イ スポーツ気運の向上によるスポーツ参画人口の拡大とスポーツを軸とした人的交流の活性化						
				ウ ラグビーを通じた地域経済の活性化						
予算額		財源内訳							一般財源	前年との対比
決定額	302,078	諸収入	876						301,202	△179,473
前年額	481,551		891						480,660	

# 平成30年度予算見積調書

課室名：オリンピック・パラリンピック課  
 担当名：総括・委員会担当  
 内線：2888 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B57	東京オリンピック・パラリンピック推進事業費			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	東京オリンピック・パラリンピック推進事業費		
事業期間	平成26年度～平成32年度	根拠法令	なし	宣言項目分野施策			11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化 061350 スポーツの振興		
1	<b>事業の概要</b> 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、会場自治体として、本県における開催準備を進める。 (1) 東京オリンピック・パラリンピック推進事業管理運営費 23,902千円 (2) 2020オリンピック・パラリンピック/ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会事業費 212,589千円 ①気運醸成事業 107,759千円 ②おもてなし事業 68,921千円 ③キャンプ誘致・宿泊対策事業 32,517千円 ④推進委員会運営費 3,392千円			<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 東京オリンピック・パラリンピック推進事業管理運営費 23,902千円 東京オリンピック・パラリンピックの推進に係る業務 庁内推進会議・幹事会等の開催運営、ウェブサイト運用業務 等 イ 2020オリンピック・パラリンピック/ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会事業費 212,589千円 ①気運醸成事業：カウントダウンイベント、競技体験、各種広報、聖火リレー関連 107,759千円 ②おもてなし事業：ボランティア確保・育成、大会開催中イベントの基本設計、環境美化、多言語対応 68,921千円 ③キャンプ誘致・宿泊対策事業：各国オリンピック委員会等へのPR、交流事業、宿泊対策 32,517千円 ④推進委員会運営費：会議費、事務局費 3,392千円 (2) 事業計画 関係機関等との連絡・調整（随時） 大会開催気運の醸成（通年） 都市ボランティアの募集（平成30年度） 事前トレーニングキャンプの誘致（通年） (3) 事業効果 オリンピック4競技（バスケットボール、サッカー、ゴルフ、射撃）、パラリンピック1競技（射撃）の会場を抱える県として、オール埼玉で準備、受入体制を整えることで、東京大会の成功とレガシーの創出につなげていく。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 大会組織委員会・東京都への協力 競技開催会場の管理者等との調整 推進委員会委員等との連携						
2	<b>事業主体及び負担区分</b> (県10/10)									
3	<b>地方財政措置の状況</b> なし									
4	<b>事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×24人=228,000千円									
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		諸収入								
決定額	236,491	342						236,149	114,902	
前年額	121,589	339						121,250		